

- 四 特許法第六十七条第二項の延長登録出願人及び代理人の氏名又は名称  
五 査定の結論及び理由  
六 査定の年月日

第三十八条の十五の二を削る。

第三十八条の十六中「第六十七条の二第二項の規定により、願書に添付しなければならない延長の理由を記載した」を「第六十七条の五第二項の」に改め、同条第一号中「第六十七条第二項」を「第六十七条第四項」に改め、同条の次に次の一条を加える。

(書面の様式)

**第三十八条の十六の二** 特許法第六十七条の六第一項の書面は、様式第五十六の二により作成しなければならない。

第三十八条の十七の見出し中「延長登録」を「特許法第六十七条第四項の延長登録」に改め、同条中「特許権の存続期間」を「特許法第六十七条第四項」に改め、同条第一号中「延長登録出願」を「特許法第六十七条第四項の延長登録出願」に改め、同条第四号中「第六十七条第二項」を「第六十七条第四項」に改め、同条第五号中「延長登録出願人」を「特許法第六十七条第四項の延長登録出願人」に改める。

様式第五の備考 1 及び様式第十の備考 1 中「特許権存続期間延長登録願」を「特許法第 67 条第 2 項の延長登録願」に改める。

様式第五十五の次に次の 1 様式を加える。

**様式第 55 の 2** (第 38 条の 14 の 3 関係)

特許法第 67 条第 2 項の延長登録願

(平成 年 月 日)

特 許  
印 紙

( 円)

特許庁長官 殿

- 1 特許番号  
2 特許出願の番号及び年月日  
出願番号  
出願日  
3 出願審査の請求があつた年月日  
4 延長を求める期間  
5 延長登録出願人  
住所 (居所)  
氏名 (名称) ㊞  
(国籍)  
6 代理人  
住所 (居所)  
氏名 (名称) ㊞  
7 添付書類の目録

(延長を求める期間の算定の根拠を記載した書面 1 通)

( 通)

〔備考〕

- 1 余白は、少なくとも用紙の左に 2 cm、上に 6 cm、右及び下に各々 3 cm をとる。  
2 「特許出願の番号及び年月日」の欄の「出願番号」には「特願○○○○―○○○○○○○」、「出願日」には「平成何年何月何日」のように延長登録の出願があつた特許権に係る特許出願の番号及び年月日を記載する。

- 3 「氏名 (名称)」は、法人にあつては、名称を記載し、その次に「代表者」の欄を設けて、その代表者の氏名を記載し、代表者の印を押す。また、その法人の名称が法人を表す文字を含まないものであるときは、「代表者」の欄の次に「法人の法的性質」の欄を設けて、「〇〇法の規定による法人」、外国法人にあつては「〇〇国の法律に基づく法人」のように当該法人の法的性質を記載する。

- 4 「延長を求める期間」の欄には、「何年何月何日」のように記載する。

- 5 第 27 条第 3 項の規定により国と国以外の者の共有に係る出願であつて、国以外の者の持分の割合に乗じて得た額を納付するときは、「6 代理人」の欄の次に「7 国以外の全ての者の持分の割合」の欄を設けて、「○／○」のように記載する。

- 6 「(国籍)」は、外国人の場合に限り記載する。ただし、その国籍が「住所 (居所)」の欄に記載した国と同一であるときは「(国籍)」の欄は設けるには及ばない。

- 7 第 38 条の 14 の 4 第 2 項の規定により特許法第 67 条の 2 第 2 項の書面の添付を省略するときは、「6 代理人」の欄の次に「7 延長を求める期間の算定の根拠」の欄を設けて、第 38 条の 14 の 4 第 1 項第 3 号から第 8 号までに掲げる事項を記載する。この場合において、「(延長を求める期間の算定の根拠を記載した書面 1 通)」の欄は設けるには及ばない。

- 8 その他は、様式第 3 の備考 1、3、4、7、9 から 11 まで及び 14 から 16 まで、様式第 5 の備考 3 並びに様式第 10 の備考 6 と同様とする。

様式第五十六中「特許権存続期間延長登録願」を「特許法第 67 条第 4 項の延長登録願」に、「第 67 条第 2 項」を「第 67 条第 4 項」に改め、同様式の備考 1 及び備考 2 を削り、同様式中備考 3 を備考 1 とし、同様式の備考 4 及び備考 5 中「特許権の存続期間」を「特許法第 67 条第 4 項」に改め、同様式の備考 4 を備考 2 とし、備考 5 を備考 3 とし、同様式の備考 6 中「すべて」を「全て」に改め、同備考を同様式の備考 4 とし、同様式の備考 7 中「第 67 条の 2 の 2 第 1 項」を「第 67 条の 6 第 1 項」に改め、同備考を同様式の備考 5 とし、同様式の備考 8 を削り、同様式の備考 9 中「並びに様式第 10 の備考 6」を「、様式第 10 の備考 6 並びに様式第 55 の 2 の備考 1、3 及び 6」に改め、同備考を同様式の備考 6 とする。

様式第五十六の 11 中「第 38 条の 15 の 2」を「第 38 条の 16 の 2」に、「第 67 条の 2 の 2 第 1 項」を「第 67 条の 6 第 1 項」に、「特許権の存続期間」を「特許法第 67 条第 4 項」に、「第 67 条第 2 項」を「第 67 条第 4 項」に改める。

様式第五十七の備考 3、様式第五十八の備考 4、様式第五十九の備考 2 及び様式第六十の備考 3 中「様式第 56 の備考 2 及び 8」を「様式第 55 の 2 の備考 3 及び 6」に改める。

様式第六十一の 11 の備考 8 及び様式第六十一の四の備考 4 中「様式第 56 の備考 8」を「様式第 55 の 2 の備考 6」に改める。

様式第六十一の備考 3 中「特許第 ○○○○○○○○ 号延長登録無効審判事件」を「特許法第何条の規定による特許第 ○○○○○○○○ 号延長登録無効審判事件」に改め、同様式の備考 9 中「様式第 56 の備考 8」を「様式第 55 の 2 の備考 6」に改める。

様式第六十二の 11 の備考 5、様式第六十五の備考 3、様式第六十五の五の 11 の備考 及び様式第六十六の備考 5 中「様式第 56 の備考 8」を「様式第 55 の 2 の備考 6」に改める。

(特許登録令施行規則の一部改正)

**第 1 条** 特許登録令施行規則 (昭和三十五年通商産業省令第 323 号) の 1 部を次のように改正する。  
第二十八条の二を削る。

第二十九条から第三十条までを次のように改める。

(存続期間の延長登録の方法)

**第二十九条** 特許法第六十七条の三第三項の延長登録をするときは、表示部に延長登録出願の年月日、延長登録出願の番号、査定又は審決があつた日及びその年月日並びに延長の期間を記録しなければならない。